

〔研究ノート〕

「だてマスク」着用に関する心理学的研究

吉 川 茂

I 目的

大学生には健康・衛生上の理由以外でもマスクを着用するケースが少なからず見受けられる。主に大学内でのそうした行為について、社会的マナーおよび対人的コミュニケーションの視点から大学生自身はどのように見ているのであろうか。本来の健康・衛生目的以外で着用されるマスクを「だてマスク」と呼ぶこととした。視力矯正以外の外見装飾目的で掛けられるメガネをだてメガネと呼ぶことに倣っての命名である。さて、さまざまなコミュニケーション状況においてサングラスやキャップなどの人工品の着用、スマホやイヤホンといった機器類の操作と比較して、だてマスクに対する許容感情の程度あるいは禁止感情の程度を調べる。それらに基づき「だてマスク」が大学生集団内でノンバーバル・コミュニケーションの一つとしていかに捉えられているか考察することを目的とする。

なお、だてマスク着用の動機・目的としては以下の3つのカテゴリーへの分類が試みられている(吉川, 2017)。

- (1) 生理的快適さに関するもの・防寒、肌の乾燥対策、日焼け予防、口臭・異臭対策など。
- (2) 美容や外見に関するもの・口元・鼻・顎の隠蔽、歯並び・歯茎の隠蔽、肌の汚さの隠蔽、化粧や髭剃りの怠慢の隠蔽、目の強調と顔の神秘性の向上効果など。
- (3) コミュニケーション不安に関するもの・自己の内心の緊張・動揺・羞恥・悪意などの漏洩抑制、交流や接触拒否を周囲へそれとなく伝達、疲労感や不機嫌など不都合な表情の隠蔽、対面時の表情コントロールの

困難さ軽減など。

II 方法

調査協力者：大阪府下の4年制大学の学生111名(男子：73名、女子：38名)
なお学年は、男子2年生：26名、3年生：34名、4年生：13名、女子2年生：11名、3年生：24名、4年生：3名である。

調査質問紙：大学生が通常体験するであろう12の場面それぞれにおいて、マスクをはじめとしてさまざまなアイテムの着用や操作を行うことについて「どれくらい問題があると思うか」を尋ねた。なお、「だてマスク」という言葉は一般に十分認知されているとは考えられないため、質問紙の中では、健康・衛生とは別の理由でのマスクとした。また「だてマスク」の目的は先に示したとおり大きく3通り考えられるため、いずれかに特定せず「別の理由」としてそれらを包含させた。

取り上げられた使用アイテムは以下の6種類である。

- (1) 健康・衛生上の理由からマスクを着用する
- (2) 健康・衛生とは別の理由でマスクを着用する(「だてマスク」を表す)
- (3) スマホ画面を見たり操作したりする
- (4) ファッション用サングラスを装着する
- (5) 帽子(キャップ)を着用する
- (6) 両耳にイヤホンをつけている

また大学生活に関連した状況としては以下

の12の場面を設定した。(6)の就活面接は大学外、(11)と(12)の異性との接触場面は大学の内外を問わないという設定である。

- (1) 大教室で授業を受けているとき
- (2) 少人数のゼミに参加しているとき
- (3) 授業中にグループ・ディスカッションしているとき
- (4) ゼミで前へ出て発表(報告)しているとき
- (5) 教室内でゲームやパーティをしているとき
- (6) 就活で企業の面接を受けているとき
- (7) 休憩時間に友だちと雑談しているとき
- (8) 先生に呼ばれて先生と話しているとき
- (9) 相談室でカウンセラーと話しているとき
- (10) 授業中に指名されて、教科書を読むとき
- (11) 好きな異性に告白(交際申し込み)するとき
- (12) 好きな異性とデートしているとき

こうした場面でのアイテム着用や使用について以下の5段階での評価を求めた。

- 1 - まったく問題ない
- 2 - あまり問題ない
- 3 - どちらともいえない
- 4 - すこし問題がある
- 5 - たいへん問題がある

Ⅲ 結果

衛生マスク、だてマスク、スマホ、サングラス、キャップ、イヤホンの6アイテムについて、「大教室」から「デート」までの12場面において、「1 - まったく問題ない」から「5 - たいへん問題がある」までの5段階で評価された結果をそれぞれTable1からTable6に示す。男子平均、女子平均、全体平均、標準偏差とともに、5段階への回答度数についても男女別と全体に分けて示してある。

平均値については、数値が「1」に近いほど「まったく問題がない」、すなわちその場面におけるアイテム使用が認められている・許容され

ていることを表す。「5」に近づくほど「たいへん問題がある」、すなわち認められない・禁止されるべき事柄であることを意味する。その場面でのそのアイテムの使用は相応しくないという評価である。

6アイテムが12の各場面で「問題なし(許容)」か、あるいは「問題あり(禁止)」かについてまとめたのがTable7からTable12である。「1 - まったく問題ない」と「2 - あまり問題ない」への回答を合わせて「問題なし(許容)」評価とした。「3 - どちらともいえない」は省き、「4 - すこし問題がある」と「5 - たいへん問題がある」をまとめて「問題あり(禁止)」とした。中央の選択肢を除いて上下に分断したわけである。合計許容度数と合計禁止度数についての偶然確率から、5%水準の有意差がみられたところに*を記した。同じく1%水準に**、0.1%水準には***をつけてある。

例えば、Table7において、衛生マスクの着用は大教室で授業を受けているときには0.1%水準で許容されるが、異性への告白場面となると逆に0.1%水準で禁止されるべきであるとして許容されないことを表す。表中の空白のマスは許容と禁止の比較評価に有意差がみられなかった部分である。

Ⅳ 考察

ここでは「だてマスク」の着用についての評価をその他のアイテムの着用および使用の評価と比較することが主目的である。したがって例えば教室内での「キャップ」の着用が認められるべきかどうかを文化間比較や歴史的経緯、マナーや道徳の視点などから議論することを目的としない。

(1) 「だてマスク」と「衛生マスク」との比較

Table1「衛生マスク」およびTable2「だてマスク」についての着用の評価を全体平均で比べると、12の設定場面のすべてにおいて「だてマスク」の数値が上回っている。すなわち「だてマ

Table1 12の設定場面ごとの「衛生マスク」に対する問題意識（許容・禁止）レベル（1～5）の平均、標準偏差と各回答への選択度数

衛生マスク	1 大教室	2 ゼミ	3 グループ	4 発表	5 ゲーム	6 面接
男子平均	1.60	2.00	3.23	4.04	2.74	4.60
女子平均	1.32	1.68	2.79	3.92	2.42	4.47
全体平均	1.50	1.89	3.08	4.00	2.63	4.56
標準偏差	0.893	1.115	1.222	1.000	1.355	0.988
男子回答 1	48	34	10	2	20	3
2	13	17	10	3	11	1
3	7	13	15	9	19	3
4	3	6	29	35	14	10
5	2	3	9	24	9	57
女子回答 1	28	22	6	2	12	2
2	8	9	9	3	10	1
3	2	5	12	4	7	2
4	0	1	9	16	6	5
5	0	1	2	13	3	28
全体回答 1	76	56	16	4	32	5
2	21	26	19	6	21	2
3	9	18	27	13	26	5
4	3	7	38	51	20	15
5	2	4	11	37	12	85

衛生マスク	7 雑談	8 先生	9 カウンセリング	10 教科書	11 告白	12 デート
男子平均	1.75	3.10	2.74	2.75	4.29	3.44
女子平均	1.50	2.79	2.66	2.55	3.84	2.89
全体平均	1.67	2.99	2.71	2.68	4.14	3.25
標準偏差	1.039	1.318	1.378	1.314	1.202	1.398
男子回答 1	46	11	19	18	4	10
2	8	15	16	14	2	14
3	12	16	15	14	10	10
4	5	18	11	22	10	12
5	2	13	12	5	47	27
女子回答 1	26	9	11	12	2	4
2	6	6	5	7	5	11
3	5	9	10	7	6	11
4	1	12	10	10	9	9
5	0	2	2	2	16	3
全体回答 1	72	20	30	30	6	14
2	14	21	21	21	7	25
3	17	25	25	21	16	21
4	6	30	21	32	19	20
5	2	15	14	7	63	30

Table2 12の設定場面ごとの「だてマスク」に対する問題意識(許容・禁止)レベル(1～5)の平均,標準偏差と各回答への選択度数

だてマスク	1 大教室	2 セミ	3 グループ	4 発表	5 ゲーム	6 面接
男子平均	2.16	2.42	3.40	4.25	3.25	4.62
女子平均	1.74	2.29	3.13	4.18	3.05	4.82
全体平均	2.02	2.38	3.31	4.23	3.18	4.68
標準偏差	1.355	1.402	1.387	0.997	1.390	0.831
男子回答 1	33	26	9	2	13	2
2	19	15	11	2	8	3
3	7	16	13	8	17	3
4	4	7	22	25	18	5
5	10	9	18	36	17	60
女子回答 1	25	16	6	1	5	0
2	4	9	10	3	12	0
3	5	4	5	4	4	2
4	2	4	7	10	10	3
5	2	5	10	20	7	33
全体回答 1	58	42	15	3	18	2
2	23	24	21	5	20	3
3	12	20	18	12	21	5
4	6	11	29	35	28	8
5	12	14	28	56	24	93

だてマスク	7 雑談	8 先生	9 カウンセリング	10 教科書	11 告白	12 デート
男子平均	2.37	3.71	3.38	3.36	4.37	3.89
女子平均	2.18	3.58	3.50	3.29	4.21	4.11
全体平均	2.31	3.67	3.42	3.33	4.32	3.96
標準偏差	1.432	1.323	1.468	1.435	1.104	1.328
男子回答 1	32	8	12	12	2	7
2	11	7	12	10	5	8
3	13	9	8	13	7	10
4	8	23	18	16	9	9
5	12	26	23	22	50	39
女子回答 1	16	3	6	7	2	2
2	9	7	5	4	2	2
3	5	4	2	6	3	5
4	6	13	14	13	10	10
5	2	11	11	8	21	19
全体回答 1	48	11	18	19	4	9
2	20	14	17	14	7	10
3	18	13	10	19	10	15
4	14	36	32	29	19	19
5	14	37	34	30	71	58

Table3 12の設定場面ごとの「スマホ」に対する問題意識（許容・禁止）レベル（1～5）の平均、標準偏差と各回答への選択度数

スマホ	1 大教室	2 ゼミ	3 グループ	4 発表	5 ゲーム	6 面接
男子平均	3.42	4.11	4.37	4.64	3.51	4.81
女子平均	3.58	4.16	4.58	4.82	3.45	4.89
全体平均	3.48	4.13	4.44	4.70	3.49	4.84
標準偏差	1.235	0.992	0.931	0.734	1.407	0.581
男子回答 1	9	1	2	2	10	1
2	9	8	4	1	11	1
3	16	7	7	3	8	2
4	20	23	12	9	20	3
5	19	34	48	58	24	66
女子回答 1	1	0	0	0	4	0
2	5	2	0	0	8	0
3	10	5	3	0	6	0
4	15	16	10	7	10	4
5	7	15	25	31	11	34
全体回答 1	10	1	2	2	14	1
2	14	10	4	1	19	1
3	26	12	10	3	14	2
4	35	39	22	16	30	7
5	26	49	73	89	35	100

スマホ	7 雑談	8 先生	9 カウンセリング	10 教科書	11 告白	12 デート
男子平均	2.47	4.64	4.62	4.63	4.58	3.82
女子平均	2.79	4.84	4.68	4.87	4.76	3.82
全体平均	2.58	4.71	4.64	4.71	4.64	3.82
標準偏差	1.379	0.718	0.711	0.846	0.840	1.323
男子回答 1	25	0	1	4	0	8
2	16	5	1	1	4	6
3	17	1	4	1	7	13
4	3	9	13	6	5	10
5	12	58	54	61	57	36
女子回答 1	7	0	0	0	1	1
2	9	0	0	0	0	5
3	12	1	2	0	1	8
4	5	4	8	5	3	10
5	5	33	28	33	33	14
全体回答 1	32	0	1	4	1	9
2	25	5	1	1	4	11
3	29	2	6	1	8	21
4	8	13	21	11	8	20
5	17	91	82	94	90	50

Table4 12の設定場面ごとの「サングラス」に対する問題意識（許容・禁止）レベル（1～5）の平均、標準偏差と各回答への選択度数

サングラス	1 大教室	2 セミ	3 グループ	4 発表	5 ゲーム	6 面接
男子平均	3.93	4.05	4.30	4.47	3.59	4.81
女子平均	4.29	4.39	4.61	4.84	3.50	4.87
全体平均	4.05	4.17	4.41	4.59	3.56	4.83
標準偏差	1.220	1.135	1.012	0.908	1.438	0.554
男子回答 1	7	4	3	4	7	1
2	5	7	5	2	12	0
3	9	9	5	1	13	1
4	17	14	14	15	13	8
5	35	39	46	51	28	63
女子回答 1	1	0	0	0	7	0
2	1	2	1	0	4	0
3	4	3	2	1	4	2
4	12	11	8	4	9	1
5	20	22	27	33	14	35
全体回答 1	8	4	3	4	14	1
2	6	9	6	2	16	0
3	13	12	7	2	17	3
4	29	25	22	19	22	9
5	55	61	73	84	42	98

サングラス	7 雑談	8 先生	9 カウンセリング	10 教科書	11 告白	12 デート
男子平均	2.95	4.42	4.48	4.49	3.93	2.95
女子平均	2.89	4.66	4.55	4.74	4.18	3.13
全体平均	2.93	4.50	4.50	4.58	4.02	3.01
標準偏差	1.524	0.999	0.971	0.804	1.342	1.610
男子回答 1	20	4	2	1	10	20
2	12	2	4	2	1	13
3	12	4	2	7	11	13
4	10	12	14	13	13	5
5	19	51	51	50	38	22
女子回答 1	8	0	0	0	1	9
2	9	2	3	1	4	6
3	8	1	3	0	6	8
4	5	5	2	7	3	1
5	8	30	30	30	24	14
全体回答 1	28	4	2	1	11	29
2	21	4	7	3	5	19
3	20	5	5	7	17	21
4	15	17	16	20	16	6
5	27	81	81	80	62	36

Table5 12の設定場面ごとの「キャップ」に対する問題意識(許容・禁止)レベル(1～5)の平均、標準偏差と各回答への選択度数

キャップ	1 大教室	2 ゼミ	3 グループ	4 発表	5 ゲーム	6 面接
男子平均	3.03	3.08	3.27	3.79	2.55	4.63
女子平均	3.53	3.32	3.34	3.74	2.34	4.87
全体平均	3.20	3.16	3.30	3.77	2.48	4.71
標準偏差	1.445	1.480	1.517	1.463	1.445	0.791
男子回答 1	17	16	14	10	24	2
2	9	9	9	6	15	1
3	18	17	16	9	17	5
4	13	15	17	12	4	6
5	16	16	23	36	13	59
女子回答 1	5	7	6	4	15	0
2	4	6	9	6	9	1
3	6	6	3	4	5	0
4	12	6	6	6	4	2
5	11	13	14	18	5	35
全体回答 1	22	23	20	14	39	2
2	13	15	18	12	24	1
3	24	23	19	13	22	5
4	25	21	23	18	8	8
5	27	29	37	54	18	94

キャップ	7 雑談	8 先生	9 カウンセリング	10 教科書	11 告白	12 デート
男子平均	1.96	3.68	3.64	3.71	2.29	1.79
女子平均	1.63	3.76	3.53	3.68	1.61	1.50
全体平均	1.85	3.71	3.60	3.70	2.05	1.69
標準偏差	1.329	1.417	1.397	1.462	1.439	1.313
男子回答 1	44	10	8	11	35	50
2	8	6	7	5	9	7
3	10	10	16	11	15	6
4	2	18	14	13	1	1
5	9	29	28	33	13	9
女子回答 1	25	4	6	6	27	30
2	8	5	3	2	6	3
3	2	4	8	5	3	2
4	0	8	7	10	0	0
5	3	17	14	15	3	3
全体回答 1	69	14	14	17	62	80
2	16	11	10	7	15	10
3	12	14	24	16	18	8
4	2	26	21	23	1	1
5	12	46	42	48	16	12

Table6 12の設定場面ごとの「イヤホン」に対する問題意識（許容・禁止）レベル（1～5）の平均、標準偏差と各回答への選択度数

イヤホン	1 大教室	2 セミ	3 グループ	4 発表	5 ゲーム	6 面接
男子平均	4.00	4.45	4.62	4.85	4.23	4.86
女子平均	4.37	4.79	4.84	4.92	4.32	4.95
全体平均	4.13	4.57	4.69	4.87	4.26	4.89
標準偏差	1.207	0.880	0.711	0.524	1.181	0.434
男子回答 1	6	3	1	1	3	0
2	4	2	1	1	5	1
3	10	4	6	0	8	2
4	17	14	9	4	13	3
5	36	50	56	57	44	67
女子回答 1	1	0	0	0	3	0
2	2	0	0	0	2	0
3	4	1	1	0	1	0
4	6	6	4	3	6	2
5	25	31	33	35	26	36
全体回答 1	7	3	1	1	6	0
2	6	2	1	1	7	1
3	14	5	7	0	9	2
4	23	20	13	7	19	5
5	61	81	89	92	70	103

イヤホン	7 雑談	8 先生	9 カウンセリング	10 教科書	11 告白	12 デート
男子平均	3.74	4.82	4.62	4.81	4.68	4.60
女子平均	4.24	4.89	4.92	4.92	4.76	4.55
全体平均	3.91	4.85	4.72	4.85	4.71	4.59
標準偏差	1.365	0.591	0.822	0.606	0.846	0.977
男子回答 1	12	2	4	2	1	2
2	3	0	0	0	2	1
3	7	0	2	1	4	5
4	21	5	8	4	5	8
5	30	66	59	66	61	57
女子回答 1	2	0	0	0	2	3
2	1	0	0	0	0	0
3	5	0	0	0	0	1
4	8	4	3	3	1	3
5	22	34	35	35	35	31
全体回答 1	14	2	4	2	3	5
2	4	0	0	0	2	1
3	12	0	2	1	4	6
4	29	9	11	7	6	11
5	52	100	94	101	96	88

Table7 衛生マスクに対する問題意識レベルの比較

	衛生マスク	1 大教室	2 ゼミ	3 グループ	4 発表	5 ゲーム	6 面接	7 雑談	8 先生	9 カウンセリング	10 教科書	11 告白	12 デート
男子	問題なし(許容)	***	***					***					
	問題あり(禁止)			*	***		***					***	*
女子	問題なし(許容)	***	***			*		***					
	問題あり(禁止)				***		***					***	
全体	問題なし(許容)	***	***			*		***					
	問題あり(禁止)				***		***					***	

Table8 だてマスクに対する問題意識レベルの比較

	だてマスク	1 大教室	2 ゼミ	3 グループ	4 発表	5 ゲーム	6 面接	7 雑談	8 先生	9 カウンセリング	10 教科書	11 告白	12 デート
男子	問題なし(許容)	***	***					***					
	問題あり(禁止)			**	***	*	***		***	*	*	***	***
女子	問題なし(許容)	***	***					**					
	問題あり(禁止)				***		***		*	*		***	***
全体	問題なし(許容)	***	***					***					
	問題あり(禁止)			*	***		***		***	*	*	***	***

Table9 スマホに対する問題意識レベルの比較

	スマホ	1 大教室	2 ゼミ	3 グループ	4 発表	5 ゲーム	6 面接	7 雑談	8 先生	9 カウンセリング	10 教科書	11 告白	12 デート
男子	問題なし(許容)							***					
	問題あり(禁止)	*	***	***	***	*	***		***	***	***	***	***
女子	問題なし(許容)												
	問題あり(禁止)	*	***	***	***		***		***	***	***	***	***
全体	問題なし(許容)							***					
	問題あり(禁止)	***	***	***	***	***	***		***	***	***	***	***

Table10 サングラスに対する問題意識レベルの比較

	サングラス	1 大教室	2 ゼミ	3 グループ	4 発表	5 ゲーム	6 面接	7 雑談	8 先生	9 カウンセリング	10 教科書	11 告白	12 デート
男子	問題なし(許容)												
	問題あり(禁止)	***	***	***	***	*	***		***	***	***	***	
女子	問題なし(許容)												
	問題あり(禁止)	***	***	***	***	*	***		***	***	***	***	
全体	問題なし(許容)												
	問題あり(禁止)	***	***	***	***	***	***		***	***	***	***	

Table11 キャップに対する問題意識レベルの比較

	キャップ	1 大教室	2 ゼミ	3 グループ	4 発表	5 ゲーム	6 面接	7 雑談	8 先生	9 カウンセリング	10 教科書	11 告白	12 デート
男子	問題なし(許容)					**		***				***	***
	問題あり(禁止)				***		***		***	***	***		
女子	問題なし(許容)					*		***				***	***
	問題あり(禁止)	*			*		***		***	*	*		
全体	問題なし(許容)					***		***				***	***
	問題あり(禁止)	*			***		***		***	***	***		

Table12 イヤホンに対する問題意識レベルの比較

	イヤホン	1 大教室	2 ゼミ	3 グループ	4 発表	5 ゲーム	6 面接	7 雑談	8 先生	9 カウンセリング	10 教科書	11 告白	12 デート
男子	問題なし(許容)												
	問題あり(禁止)	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
女子	問題なし(許容)												
	問題あり(禁止)	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
全体	問題なし(許容)												
	問題あり(禁止)	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***

スク」着用に対してより厳しい評価がなされているのである。「衛生マスク」は本来の使用目的に沿っており、その必要性・妥当性が認められているためか着用することに比較的寛容な評価となったのであろう。

しかしながら、外見上は同じマスクを同じように着用しているわけで特別な相違点は見いだせない。よって許容と禁止に関する評価に類似点も多い。Table7とTable8を対照して眺めると、「衛生マスク」「だてマスク」ともに全体で許容評価が禁止評価よりも有意(0.1%水準)に高い場面は、「1 大教室」「2 ゼミ」「7 雑談」で共通している。また禁止評価が許容評価より有意(0.1%水準)に高いのは、「4 発表」「6 面接」「11 告白」の3場面であり共通している。設定された12の場面のうち7つの場面で許容・禁止に関して同じ傾向が認められたことになる。発言の機会がほとんどないか少ない授業場面や友人たちとのリラックス場面でのマスク着用は理由の如何に関わらずよしとされているようであり、一方、一個人として注目され相手と対峙し重要な発言をしなければならぬ場面となるとマスクの着用は「衛生マスク」「だてマスク」を問わず着用すべきではないと大学生は捉えている。

対象者全体として「だてマスク」のほうが「衛生マスク」よりも厳しく禁止されるべきだと捉えられていたのは「3 グループ」「8 先生」「9 カウンセリング」「10 教科書」「12 デート」の5場面であった。

グループディスカッション、先生との個人的な対話、カウンセラーとの面談、教科書の指名されての朗読、異性とのデートなどの場面では、特に健康衛生上の問題がないのであればマスクは着用すべきでない、してもらいたくないとの学生の見解が示されたと解釈できる。

以上のことから、着用に関して「だてマスク」と「衛生マスク」には許容・禁止の類似点が多いが、全般に「だてマスク」に対する許容度は低く、さらにより公的な、あるいはより重要なコミュニケーション場面では一層厳しい評価がな

されたとまとめられる。

(2) 「だてマスク」と「スマホ」との比較

大学生が「だてマスク」着用によるコミュニケーションや対人関係への影響をいかに認知しているかを調べるため、「スマホ」使用と比較した。Table2とTable3の比較からつぎのことがわかる。「スマホ」使用に対しては全体的に非常に厳しい評価であり、「7 雑談」場面でのみ辛うじて許容傾向が禁止傾向を上回っている。逆に見れば、「だてマスク」は相対的に「スマホ」ほど悪い影響を及ぼすものとは大学生は考えていない。Table8とTable9を見比べると、顕著な相違点は「1 大教室」「2 ゼミ」の2つの場面に見られた。これら場面では「だてマスク」は許されるが「スマホ」は禁止されるべきだという違いである。大教室での受講やゼミ参加に「だてマスク」は少なくとも着用者本人にとって障害とならないが、「スマホ」使用は学習活動の妨げになるとの判断からであろう。さらに「5 ゲーム」場面においても違いが見られた。ゲームやパーティなど娯楽の場面であってもみんなと一緒に楽しもうとせず「スマホ」に没頭する態度が嫌われたものと思われる。「だてマスク」は着用者の関心の対象とはならないが、「スマホ」は使用者の関心を強く引き付けるために、他の参加者にはコミュニケーションがとりづらく不快感を与えることになるのであろう。

(3) 「だてマスク」と「サングラス」との比較

Table4から「サングラス」に対する問題意識は全体平均で12場面中9場面と大半の場面で「問題がある」というたいへん厳しいものであった。ただ「7 雑談」と「12 デート」場面でのみ許容と禁止の評価が拮抗し大学生により「サングラス」の捉え方が一様でないことが示されたが、積極的に許容される場面は皆無であった。よほど個人的でプライベートな場面でのみ「サングラス」を認めてもよいと考える大学生が少なからずいたことになるが、しかしそれら以外の場面での「サングラス」は著しく嫌悪されていた

わけで、対人関係状況で必要でもないアイテムで視線を遮断し特殊な印象を与える「サングラス」はマスクとは異質な存在であるとみられているようである。

(4) 「だてマスク」と「キャップ」との比較

「キャップ」については場面によって許容・禁止の評価が大きく分かれる結果がTable5およびTable11から読み取ることができる。「5ゲーム」「7雑談」「11告白」「12デート」の4場面では着用することが積極的に許容され認められていた。異性への告白時の「だてマスク」はたいへんよくないとされていたのと対照的である。「キャップ」は若者ファッションの一部であり自分たちの普段の行動においてはほとんど問題ないとみられていると思われる。マスクよりも通常のアイテムの一つとして捉えられているようである。「キャップ」は頭部を覆うだけで顔を隠すことはないので表情は伝わりやすくコミュニケーション事態での心理的抵抗は少ないこともこれら結果の一因であろう。

(5) 「だてマスク」と「イヤホン」との比較

今回の調査に用いられた全6アイテムの中で12場面のすべてにおいて最悪の評価となった。「1大教室」や「7雑談」、「5ゲーム」「12デート」など他のアイテムなら少しは許容されることもある場面であっても「イヤホン」の場合は認められない、禁止されるべきだという大学生の明確な評価傾向が確認された。「イヤホン」は視線を遮ることはなく、表情を隠すこともなく、発声を妨害することもない。相手をふつうに見ることはできるし、顔で感情表現を伝えることもでき、そのままの音声を届けることもできる。しかしながら設定されたさまざまな対人コミュニケーション場面においてその使用に拒否・嫌悪という極度に否定的な評価がなされたのである。「だてマスク」は相手からの情報を視覚や聴覚で受け取ることは通常どおり行うことができる。ただ自己の口元周辺の表情の発信をマスクで覆っているだけである。しかしながら「イ

ヤホン」は聴覚を遮断し相手との言語的交流を断っているのである。ごく簡単な内容や感情は言語を用いなくてもジェスチャーや表情で伝達可能であるが、日常の多くの伝達事項は言語を介さなければ成り立たない。「イヤホン」はそれを拒否していることになり、相手からすれば言語的コミュニケーションの機会を奪われたも同然である。お互いに相手が視界に入っていない、つまりよそ見をしてもスマホ画面を見ている言語的コミュニケーションは成立するのに対して、「イヤホン」はたとえ顔を向き合わせていてもコミュニケーションは著しく阻害される状況なのである。相手にとってはコミュニケーションの対象としての自分の存在・価値を認められていないと感じられるのではないかと推察される。

(6) 「だてマスク」着用についてのまとめ

「だてマスク」着用をさまざまな場面におけるいくつかの人工品、機器類の着用・使用と比較して、大学生がそのことをどのように認識しているかを調べてきた。以下にこれまでの考察を簡略にまとめたい。「衛生マスク」には意図的な非言語的なコミュニケーションとしての使用はほとんどなく本来のマスクとして着用されている。「だてマスク」も外見上はあまり区別されないため大学生からの許容度に大差はなかったが、一個人として顔を示し重要な発言や対話をすべき機会にはマスクをしないほうがよいとされた。生理的快適や美容、内面の不安隠しなどのための意図的コミュニケーションの道具としてはある程度認められるが、「衛生マスク」に対するよりも厳しい目が向けられているようである。

以下、コミュニケーションに関する視点から「だてマスク」を考えてみたい。マスクは顔の下半分を覆い隠し口元の表情の判別ができなくするが、目元の表情や視線には影響しない。アイコンタクトをとったり本人が何に注目し関心を向けているか容易に判断できたりする。また聴覚にも関係しない。そして着用本人の興味・

関心がそれに集中する娯楽的な要素はない。社会的に明確なマナー違反と指摘され非難されることは相対的にそれほど強くない。したがって「だてマスク」着用者とコミュニケーションをとることの障害の程度は他のアイテム、スマホ、サングラス、キャップ、イヤホンとは異なっている。大学生集団の中での「だてマスク」は場面によっては認められないが、あまり強く嫌われ禁止すべきものとはみられていない。他者とのコミュニケーションや他者からの評価の問題であるよりも、「だてマスク」着用者自身の心理的な問題として捉えたほうがよいのであろう。

参考文献

- 田中 敏・中野博幸 2004 クイック・データアナリシス 新曜社
吉川 茂 2017 心理学からみた「だてマスク」の着用
阪南論集 人文・自然科学編 第53巻1号

(2017年11月24日掲載決定)